

未来に使える抗菌薬を残すために

薬剤耐性AMR

「かぜをひいたら抗菌薬」というわけではありません



「抗菌薬」はどんな薬？

「かぜっぽいな。お医者さんで抗菌薬をもらって早く治そう…」

そんなふうに思ったことはありませんか。ほとんどのかぜやインフルエンザはウイルスが原因です。抗菌薬は細菌に効く薬なので、ウイルスが原因となる感染症には効果がなく、早く治ることもありません。「**抗菌薬**」は「**抗生剤**」「**抗生物質**」と呼ばれることもあります。

細菌

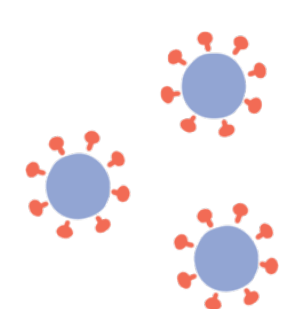


大きさ
0.001 mm

細菌による病気

肺炎、中耳炎、膀胱炎など

ウイルス



大きさ
0.00001 mm

ウイルスによる病気

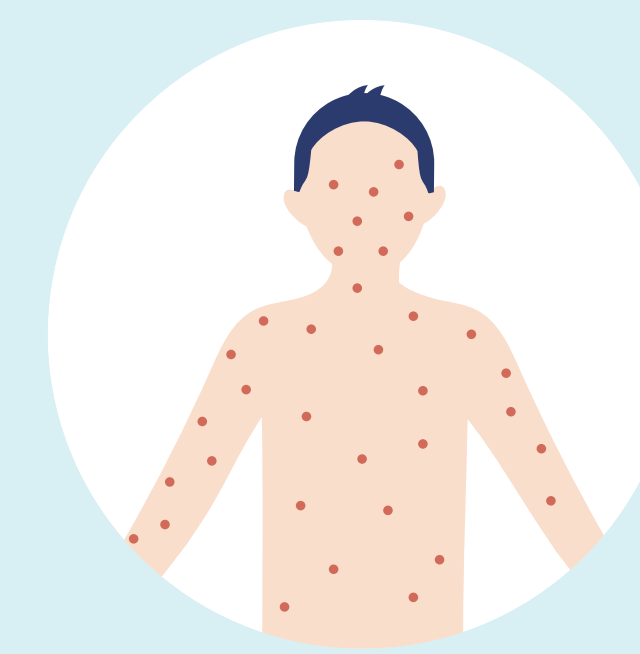
かぜ（感冒）、
インフルエンザ、風疹など

細菌とウイルスは大きさや構造、増え方が違う、まったく異なる病原体です



抗菌薬の効果

抗菌薬は細菌に効く薬です
ウイルスが原因の病気には
効きません



副作用

下痢・嘔吐・発疹などの
副作用をおこすことが
あります



薬剤耐性へのリスク

必要のない抗菌薬の服用は
薬剤耐性菌の発生に
つながります

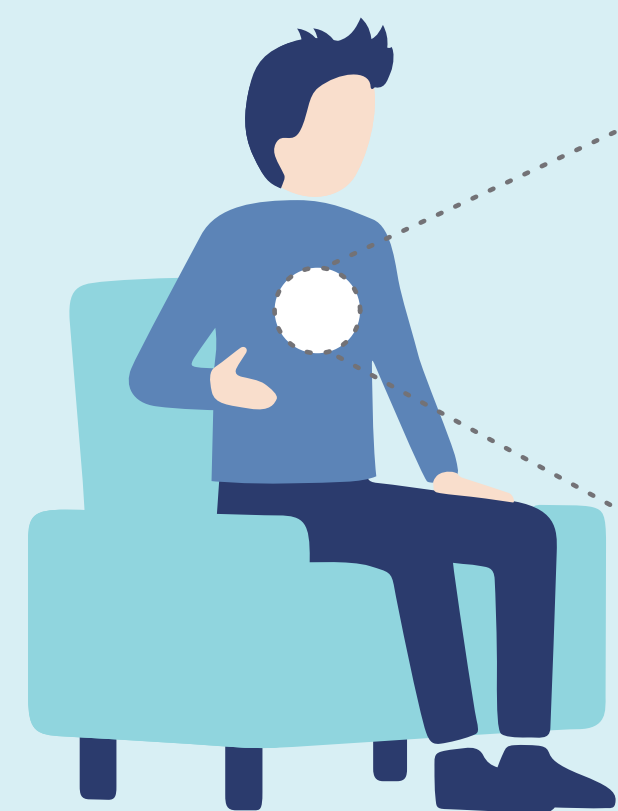
抗菌薬は使い方が大事



診療を受けた医師の指示にしたがってください

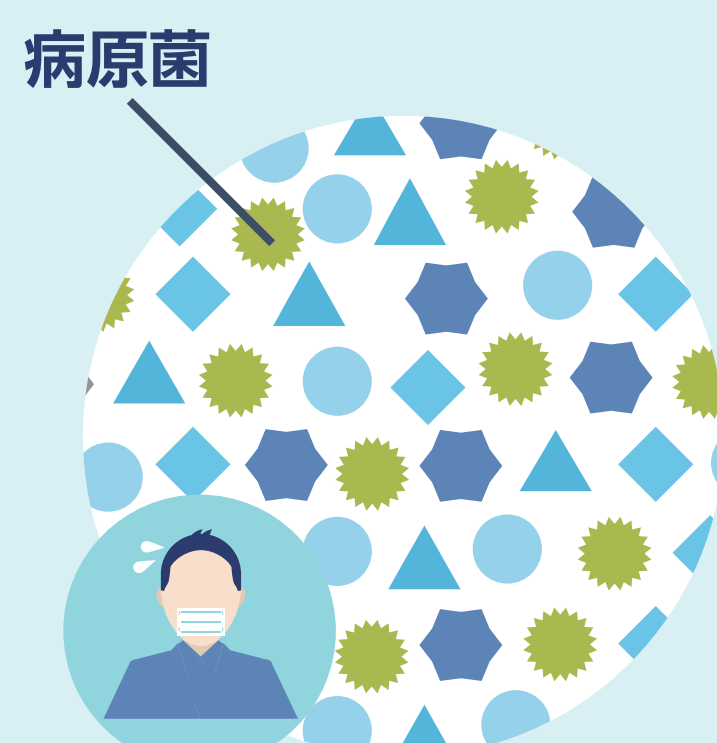
抗菌薬が効かないのは薬剤耐性菌が原因かもしれません

薬剤耐性菌が増える過程



①通常時

からだの中には害のない
さまざまな細菌が共存し
健康のバランスを保っています



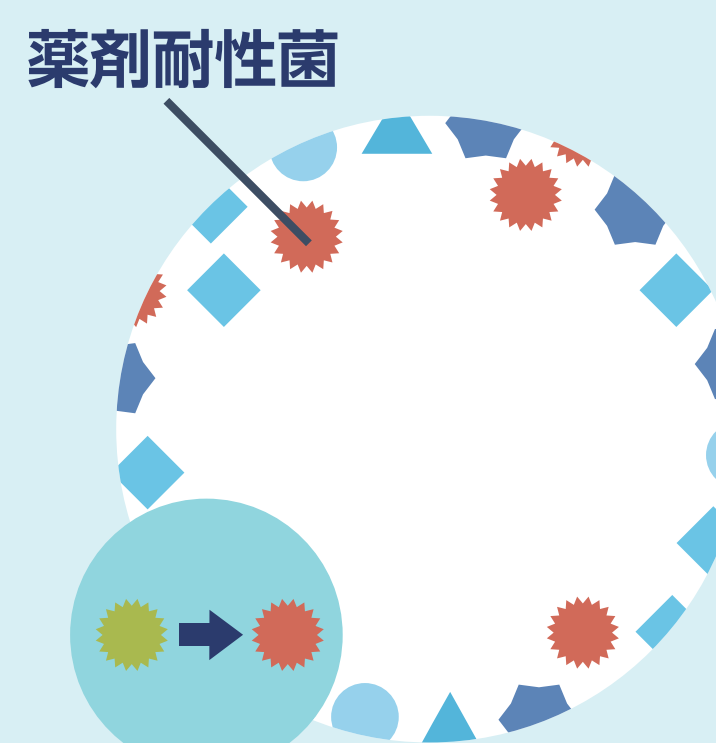
②感染症発症

病原菌が増えて
感染症を発症します



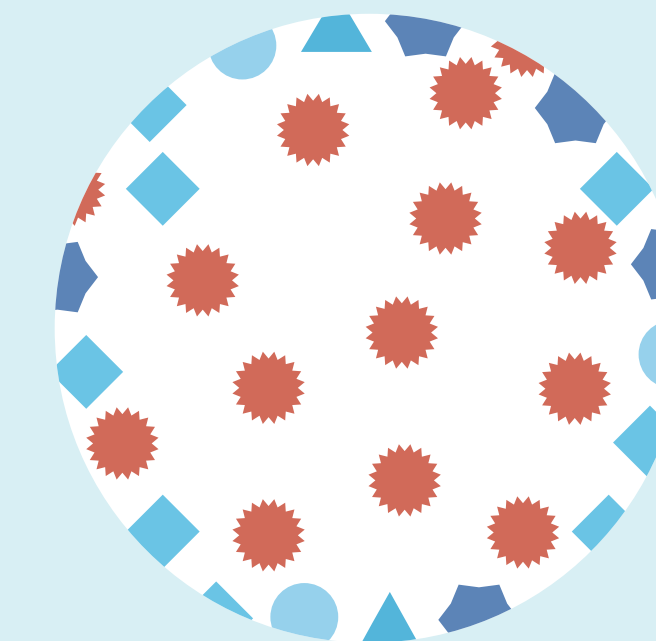
③薬剤（抗菌薬）治療

病原菌と共に害のない細菌も
退治してしまいます



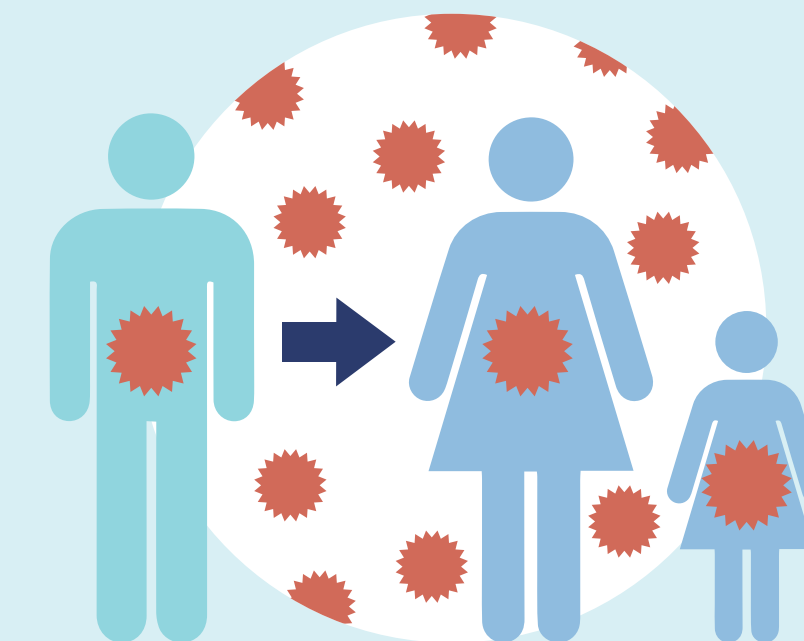
④薬剤耐性菌が残る

病原菌が変化して生まれた
薬剤耐性菌が生き残ります



⑤薬剤耐性菌が増殖

体内に薬剤耐性菌が
たくさんいる状態になります

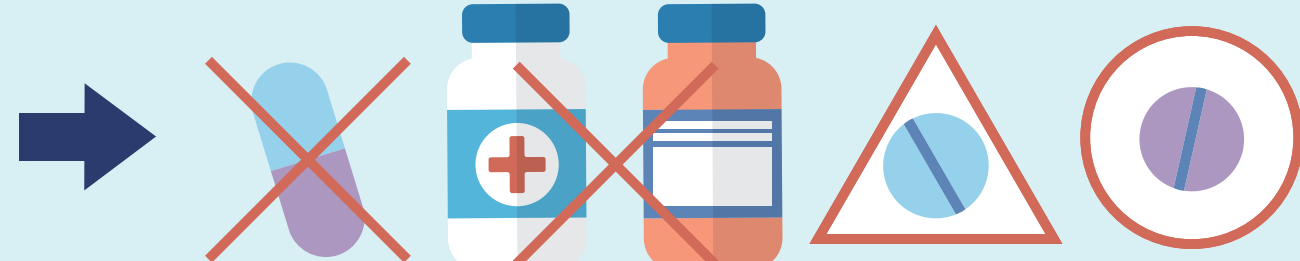


⑥院内、市中へ

院内などで人から人へ
感染し周囲に広がる恐れが
あります

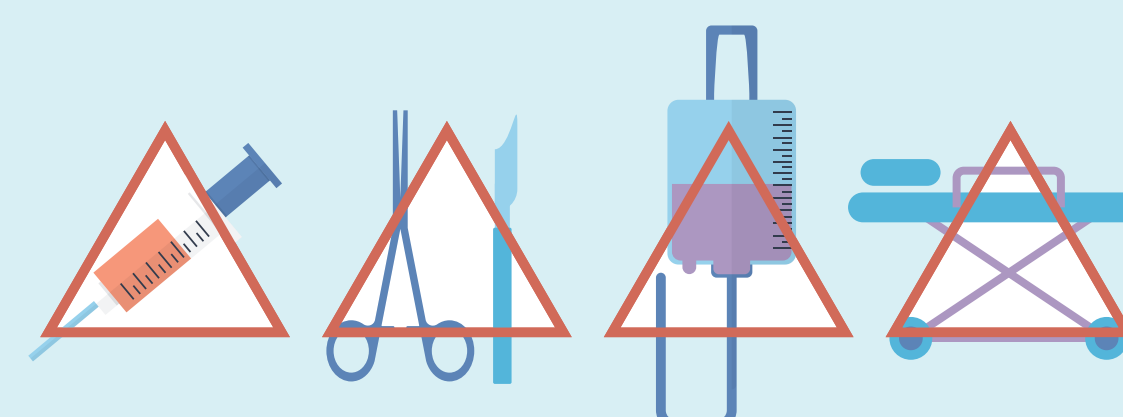


薬剤耐性菌



感染症の病気が治りにくなる

病気に効果が見込まれる薬の種類が少なく
治療が難しくなります



さまざまな医療が困難になる

抗菌薬が効かないと感染症の予防や治療が難しくなり
さまざまな医療を安全に行えなくなります

※いつも薬剤耐性菌に置き換わるわけではありませんが、抗菌薬を使うほどその機会が増えてしまいます。